

(1)学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
学習関係	重点行動計画1「授業の改善・充実」 (1) 授業力向上のため教員相互の授業見学を実施し、指導方法の改善、指導力の向上に取り組む。 (2) 生徒の授業満足度90%以上 (3) 年間総授業時間数の確保（年間：1,050時間以上）	(1) 転入者を中心に授業見学を実施 (2) 生徒アンケート「授業はわかりやすいか」→ 79%（昨年度72%） (3) 授業振り替えや、代わりの教員が授業を行う。	(1) 転入教員の不安解消と授業力向上に効果があった。 (2) 授業改善のため、アクティブラーニングについて先進校視察を行った。今後も引き続き研究し授業改善に努める。 (3) 自習の時間はほとんどなくなっている。
生活関係	重点行動計画2「充実した学校生活」と「自主活動の促進」 (1) 挨拶の励行、遅刻防止に努める。毎日、登校指導を実施する。 年間遅刻者数：昨年度比10%減 (2) 安全・安心な学校づくり (3) 教育相談やカウンセリングの充実。	(1) 遅刻者数1月末時点で、前年度比37%減（H25：728人、H26：464人、H27：294人） (2) 各学期にいじめ調査実施 いじめ認知件数 0件（昨年度0件） (3) 教職員の意識と指導力の向上のため職員研修を実施 2月17日（水）	(1) 毎朝職員が校門で声かけ等を行うことが、生徒とのコミュニケーションの一つとなっている。また、生活安全週間を設定し、登下校時に生活面全体の指導を行った。 (2) 生徒が安心して学校生活を送れるよう、引き続きいじめ防止に取り組む。 (3) 教育相談担当を中心に外部専門家と連携して生徒の相談に対応していく。
進路関係	重点行動計画3「生徒の進路希望の実現」 キャリア教育の充実 (1) 山高版「ようこそ先輩」を開催する。 (2) オープンキャンパスに参加する。 (3) 生徒の自主学習と職員の研修を促進する。	(1) 1年生対象に実施 H28年2月15日（月） (2) 1年生全員が三重大学・名古屋大学オープンキャンパスに参加。 (3) 3年生担任および進路指導部が分析会や説明会に参加した。	(1) 卒業生から話を聞く機会を通じて、生徒の意識が高まった。 (2) オープンキャンパス参加者数 三重大学 8月10・11日、94名 名古屋大 8月7・11日、146名 (3) センター試験出願率が昨年に比べ上昇した。 (H25：85.9%、H26：83.2%、H27：86.0%)

その他の取組	<p>重点行動計画その他</p> <p>(1) 人権を尊重した教育活動</p> <p>(2) 地域と連携した防災・避難訓練の実施(たけのこ保育所、早修小学校、地域住民)</p>	<p>(1) 「人権感覚あふれる学校づくり事業」の指定を受け、1学年および2学年において人権教育に関する研究を行った。</p> <p>(2) 地域住民も参加していただき、保小高合同で避難訓練・防災講話を実施した。(9月4日)</p>	<p>(1) 11月16日(月)に公開人権LHRと研究協議、11月18日(水)に人権講演会を実施</p> <p>1学期にLGBTについて職員研修実施生徒及び教職員の意識が高まった。</p> <p>(2) 地域の防災意識向上に貢献できた。</p>
---------------	--	--	--

(2) 組織の状態の評価結果

アセスメントから明らかになった状況	
強み	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は学習活動と部活動の両面で熱心に取り組んでいる。 生徒に丁寧に接する教職員の姿勢がある。 伝統校であり多くの卒業生の協力が得られる。
弱み	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身で「壁」や「限界」を作ってしまう生徒が少なからずいる。生徒が自信を持ち、積極的に行動できるよう支援を続けていくことが必要である 学級数減により、部活動等に与える影響が考えられる。学校の元気を維持していくことが必要である。

(3) 学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会の実施内容等	
<実施回数>	3回
内容実施	<p>第1回(6月29日) 現況報告 学校経営の改革方針について 学校評価の進め方について</p> <p>第2回(12月11日) 学校自己評価中間報告 授業見学 生徒会役員との懇談</p> <p>第3回(2月23日) 今年度の取組報告 次年度へ向けての意見交換</p>

(4) 学校関係者による評価結果

学校関係者評価から明らかになった改善課題	
評価関係者評	<ul style="list-style-type: none"> 学校としてきちんと自己評価がなされているが、もう一段詳細に分析し検討していくことも大切である。 新学習指導要領に向けて、アクティブラーニングなどのさらなる研究をやっていただきたい。 伝統校として、そのブランド力を高めていく工夫があればよい。 部活動に対する評価も必要。

(5) 組織力向上のための取組(改善策)

次年度に向けた取組	
<ul style="list-style-type: none"> 「学習活動、部活動の両面で充実感が得られる学校」の実現を旨とした効果的取組の実施 新しい学習指導要領への準備 平成29年4月に全学年が6学級になることへの対応 	